

2. 山梨市の概況

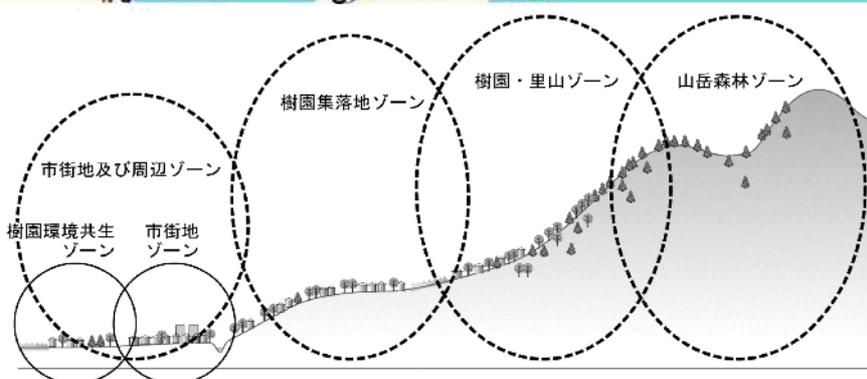
2.1 位置・地勢

本市は、甲府盆地の東部に位置し、面積は 289.87km² で県内第 4 位の広さを有しています。西部から南部にかけては甲府市及び笛吹市、東部は甲州市、北部は埼玉県秩父市及び長野県川上村にそれぞれ接しています。

また、都心から約 100km 圏にあり、JR 中央線や中央自動車道で約 90 分という交通の利便性に恵まれています。

地形的には、笛吹川沿い南北につながり、北部は山岳・丘陵地帯、南部は笛吹川左岸に平坦地、右岸は平坦地から丘陵地帯が広がっています。

面積の 8 割を森林が占め、笛吹川とその支流の琴川、鼓川、日川、重川などがもたらす肥沃な土地の恩恵を受け、なだらかな斜面や平坦地に広がる桃・ぶどうの果樹園は、美しい景観をおりなすとともに、県内有数の生産量を誇っています。



出典：山梨市都市計画マスタープラン

図 2.1 山梨市の立地及び主な土地利用ゾーン

2.2 人口動向等

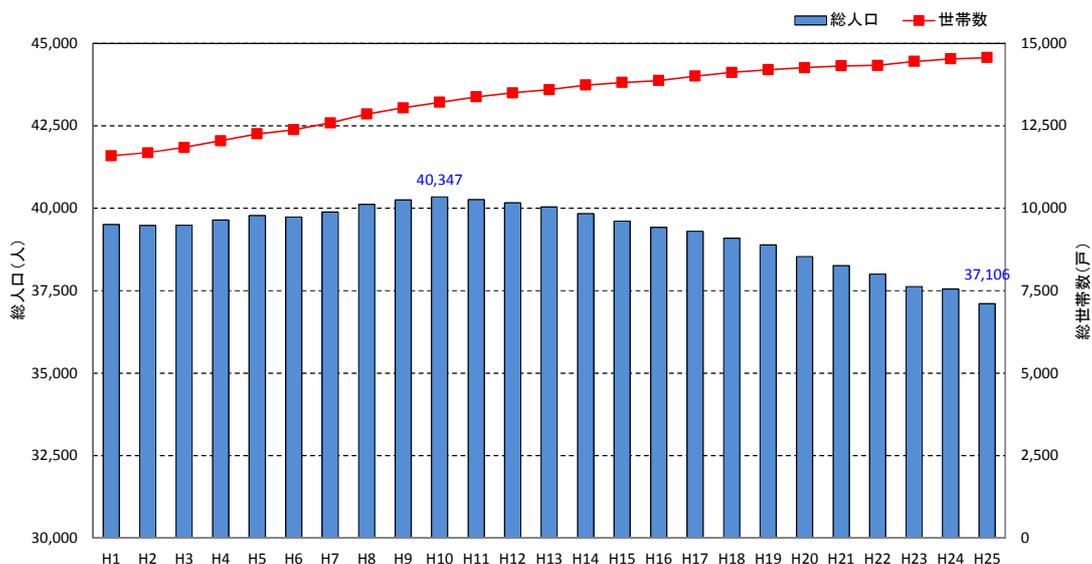
本市の人口の動きや少子高齢化の状況、障害者手帳交付状況等を整理しました。

2.2.1 人口の動き

本市の人口は、平成10年をピークに減少傾向にあります。

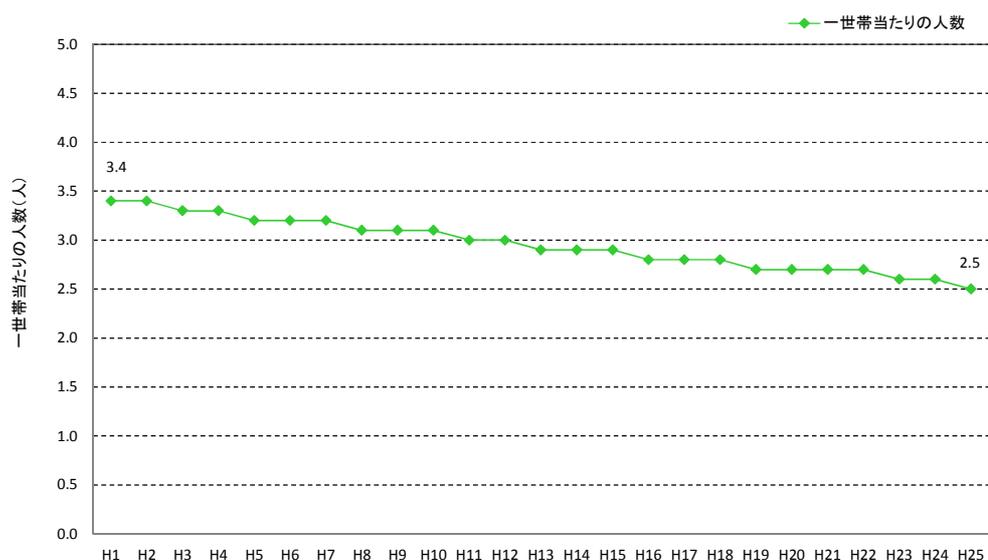
平成25年1月時点での山梨市は、人口が37,106人であり、ピーク時との比較では、約8%の減少となっています。

また、世帯数は14,569世帯で年々増加傾向にあるものの、1世帯あたりの人数は減少しており、核家族化と新たな世帯移入の傾向が伺えます。



データ出典：統計やまなし（住民基本台帳）

図 2.2 山梨市の人口・世帯数の変遷



データ出典：統計やまなし（住民基本台帳）

図 2.3 山梨市の一世帯当たりの人数

2.2.2 少子高齢化の状況

平成 22 年時点の本市における 65 歳以上の高齢者の占める割合は、27.8%で、県の 26.8%、全国の 23.0%を上回り、およそ 3.6 人に 1 人が高齢者となっています。

WHO（世界保健機構）や国連の定義によると、65 歳以上の人口の割合が 21.0%以上の場合、「超高齢社会」に該当します。

また、年齢別では、年少人口（15 歳未満）及び生産年齢人口（15 歳以上 65 歳未満）の割合が低く、少子高齢化の進行が伺え、高齢化率は今後も上昇を続けることが想定されます。

表 2.1 65 歳以上の割合（%）

| 65歳以上の割合 | H2 | H7 | H12 | H17 | H22 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 山梨市 | 17.8% | 20.3% | 22.6% | 25.1% | 27.8% |
| 山梨県 | 15.8% | 18.2% | 20.3% | 24.2% | 26.8% |
| 全国 | 12.1% | 14.6% | 17.4% | 20.2% | 23.0% |

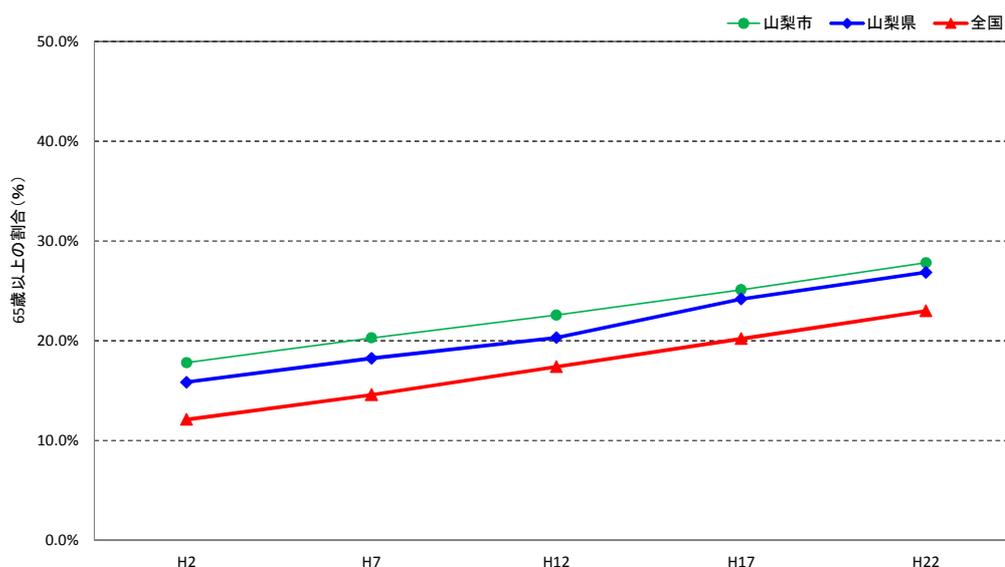


図 2.4 65 歳以上の割合

データ出典

※山梨市：統計やまなし（H2～H17：平成 17 年版、H22：平成 24 年版 住民基本台帳）

※山梨県：山梨県統計データバンク 人口・世帯 年齢別人口（高齢者人口） 市町村別高齢者人口

※全 国：国勢調査

2.2.3 障害者手帳交付状況

本市における身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の合計交付人数は、平成25年3月末時点で、2,400人（身体障害者手帳保持者：1,772人、療育手帳保持者：250人、精神障害者保健福祉手帳保持者：378人）となっています。

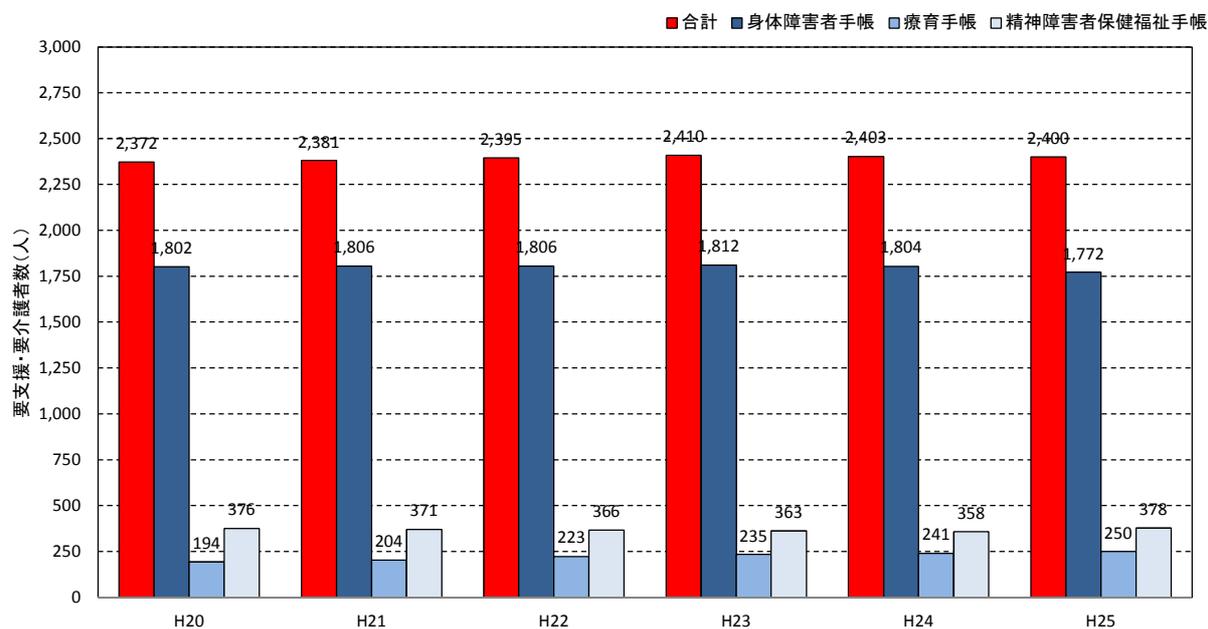
平成20年3月末の合計交付人数は2,372人で、平成23年3月末では2,410人と増加傾向にありましたが、平成23年以降は若干の減少傾向に転じています。

障害別では、身体障害者手帳保持者の平成20年3月末の合計交付人数は1,802人で、平成23年3月末では1,812人と増加傾向にありましたが、平成25年3月末には1,772人と若干の減少傾向に転じています。

療育手帳保持者の平成20年3月末の合計交付人数は194人で、平成25年3月末には250人と増加傾向にあります。

精神障害者保健福祉手帳保持者の平成20年3月末の合計交付人数は376人で、平成24年3月末では358人と減少傾向にありましたが、平成25年3月末には378人と増加傾向に転じ、平成20年3月末と同程度となっています。

総人口に占める手帳交付者の割合（総人口比）も、平成20年3月末は約6.2%、平成23年3月末は約6.4%、平成25年3月末は約6.5%と若干の増加傾向にあります。



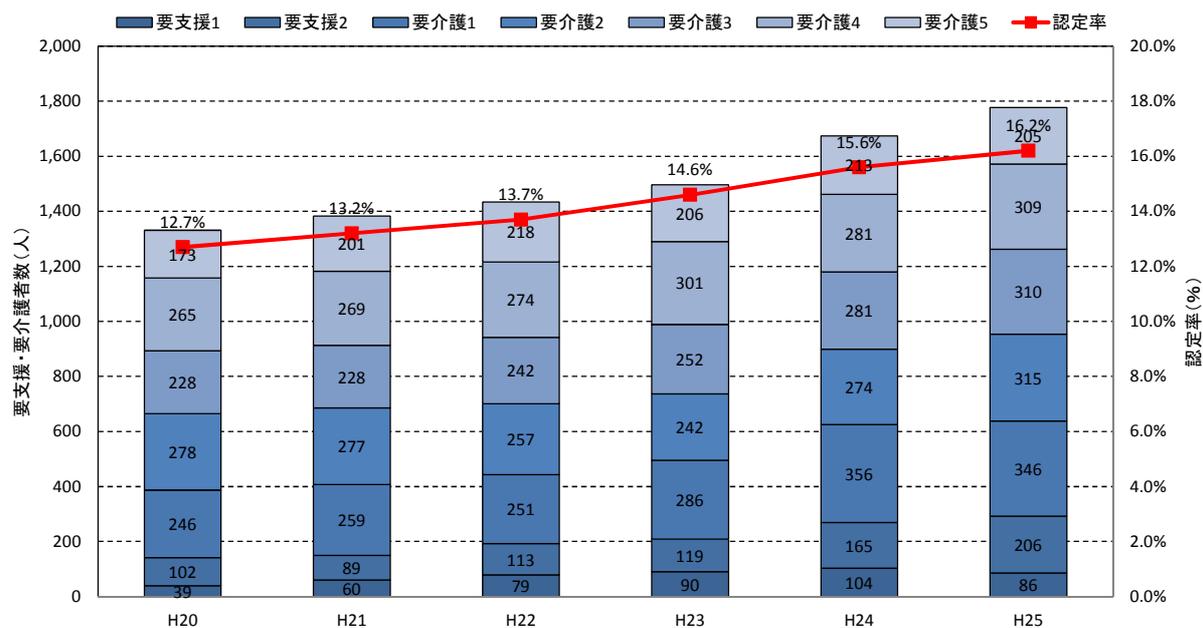
出典：山梨市福祉事務所資料

図 2.5 障害者手帳交付状況

2.2.4 要支援・要介護認定者数の推移

本市における要支援・要介護認定者数は、介護保険事業状況報告によると、平成25年度末時点で1,777人となっており、平成20年度末の1,331人と比較すると、446人（33.5%）増えています。

認定率（65歳以上の被保険者数に対する要支援・要介護認定者の割合）で見ると、平成20年度末時点の12.7%から平成25年度末では16.2%と3.5ポイントの増加となっています。



出典：山梨市高齢者いきいき安心プラン（H19～H22）、山梨市介護保険課資料（H23,H24）

図 2.6 要支援・要介護認定者数

2.3 公共交通の状況

本市の公共交通の状況として、幹線道路、鉄道、市営バスについて整理しました。

2.3.1 幹線道路

本市の幹線道路は、笛吹川沿いを南北に走る国道 140 号と南部の日川沿いを東西に走る国道 411 号、それと接続する県道 8 路線、フルーツライン、高規格道路としての西関東連絡道路があり、山梨地域の市街地周辺に幹線道路が集中し、広域交通の要衝となっています。

牧丘地域、三富地域については、国道・県道が生活道路としての役割を果たし、市街地を結ぶ重要な路線となっています。

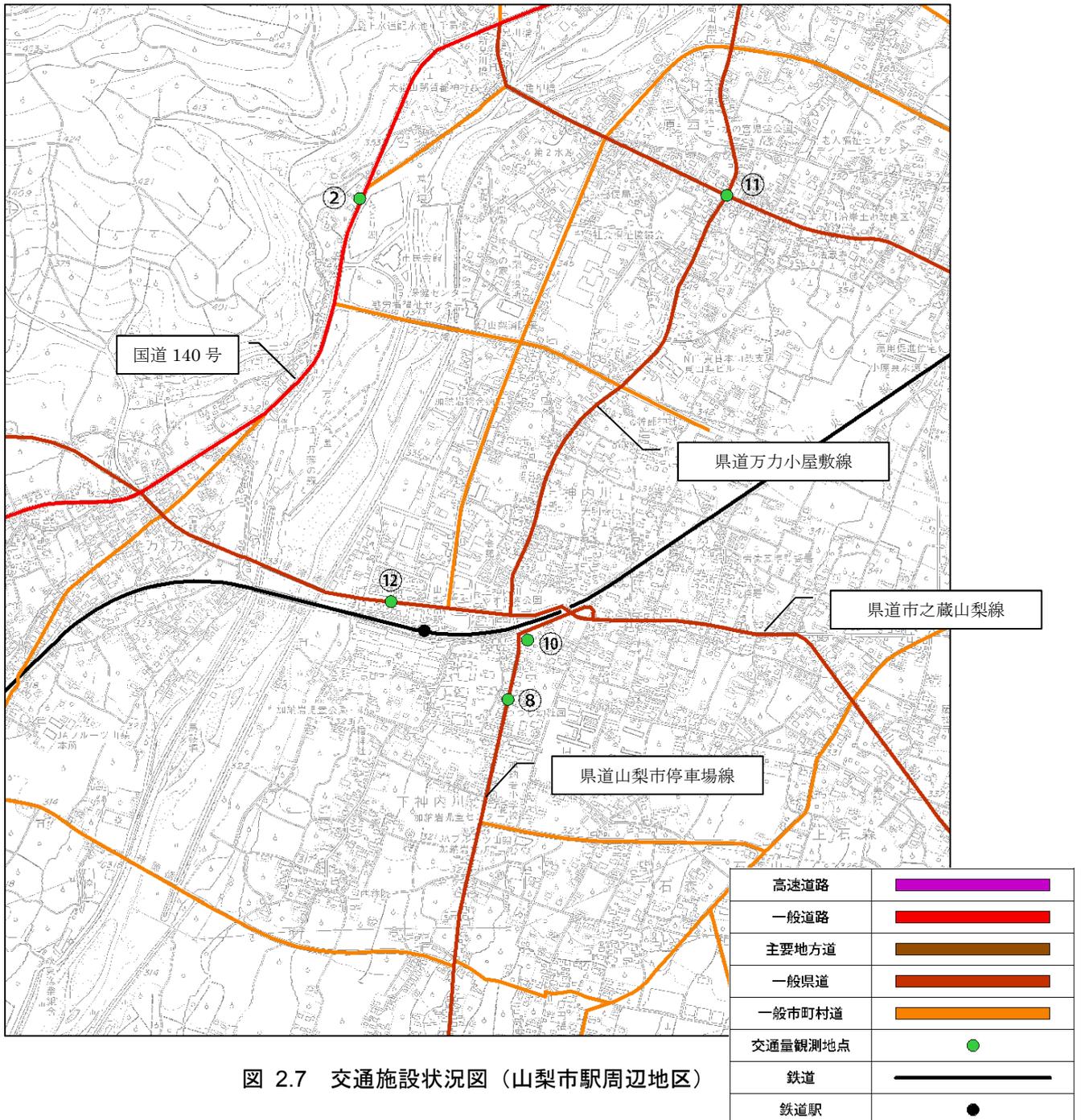


図 2.7 交通施設状況図（山梨市駅周辺地区）

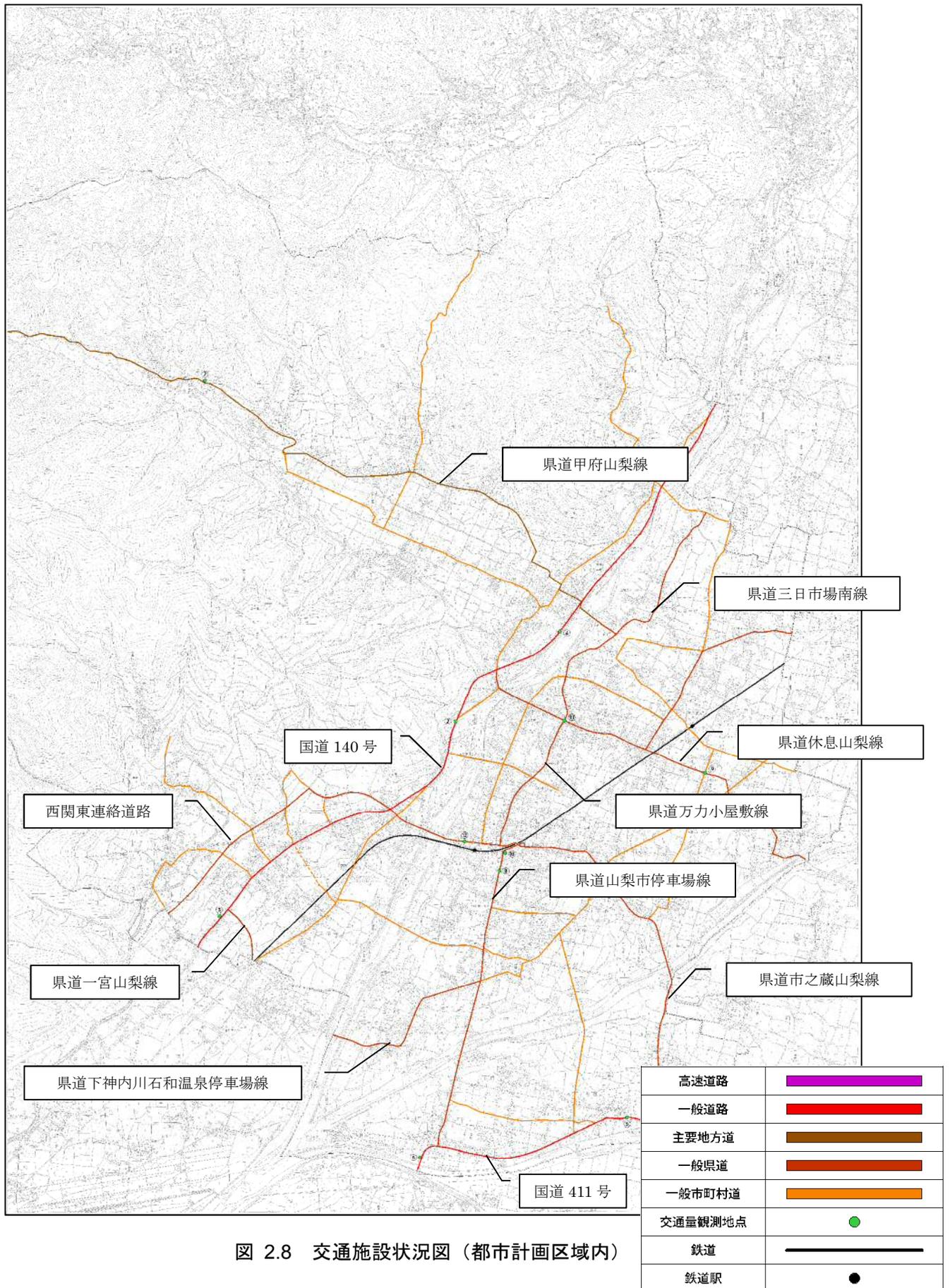


図 2.8 交通施設状況図（都市計画区域内）

2.3.2 鉄道

本市は東日本旅客鉄道（JR 東日本）が東西に横断しており、山梨市駅、東山梨駅の2駅が立地しています。

山梨市駅の乗降客数（過去8年間平均）は年間約1,315千人、1日平均乗降客数（過去8年間平均）は3,604人で、概ね横這いの傾向となっています。

東山梨駅の乗降客数（過去8年間平均）は年間約479千人、1日平均乗降客数（過去8年間平均）は1,311人で、僅かながら増加傾向となっています。

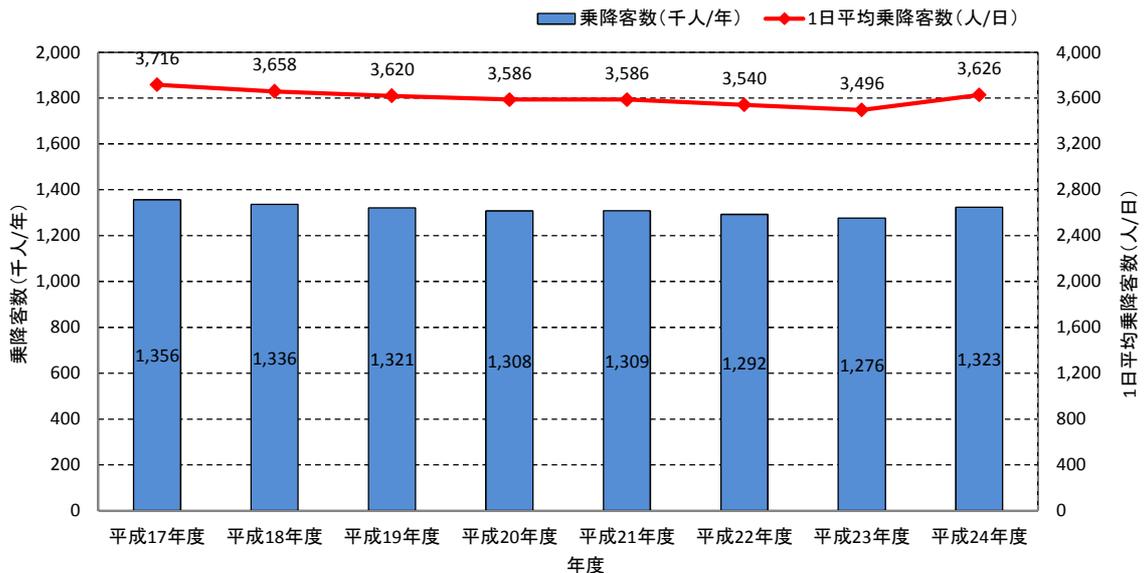


図 2.9 山梨市駅乗降客数

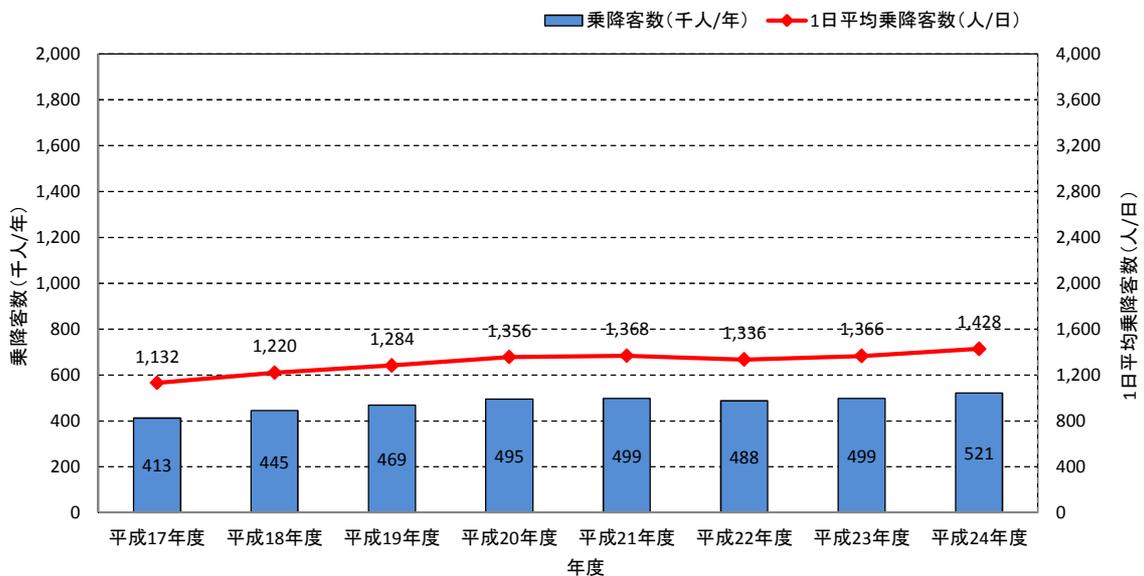


図 2.10 東山梨駅乗降客数

<算定式及び出典>

※乗降客数（人/年）＝乗車総数（統計やまなし）×2（同数の降者数があると仮定）

※1日平均乗降客数（人/日）＝1日平均乗車数（統計やまなし）×2（同上）

2.3.3 市営バス

本市の市営バスは、「西沢渓谷線」「山梨循環線」「牧丘循環線」の3つの路線に分かれて運行しています。

利用状況では、山梨循環線及び牧丘循環線ともに若干減少傾向にあり、西沢渓谷線では、平成20年度以降概ね横ばいの傾向にあります。

利用者が減少しているバスについては、市民の要望を充分検討しながら利便性の確保を図る必要があります。

<西沢渓谷線>

- ・主に山梨市駅と西沢渓谷入口の間を2台のバスが循環運行しています。

※ルート：山梨厚生病院 ⇄ 山梨市駅 ⇄ 窪平 ⇄ 乾徳山登山口 ⇄ 西沢渓谷入口

<山梨循環線>

- ・山梨地域内において、山梨市駅を起点に2台のバス（ピーチ号・グレープ号）が南北を循環運行しています。

※ルート①：南回り（例：山梨市駅 ⇄ 体育館入口 ⇄ 日川団地 ⇄ 山梨市駅）

※ルート②：北回り（例：山梨市駅 ⇄ 北中入口 ⇄ 市川保育所 ⇄ 切差下 ⇄ 戸市）

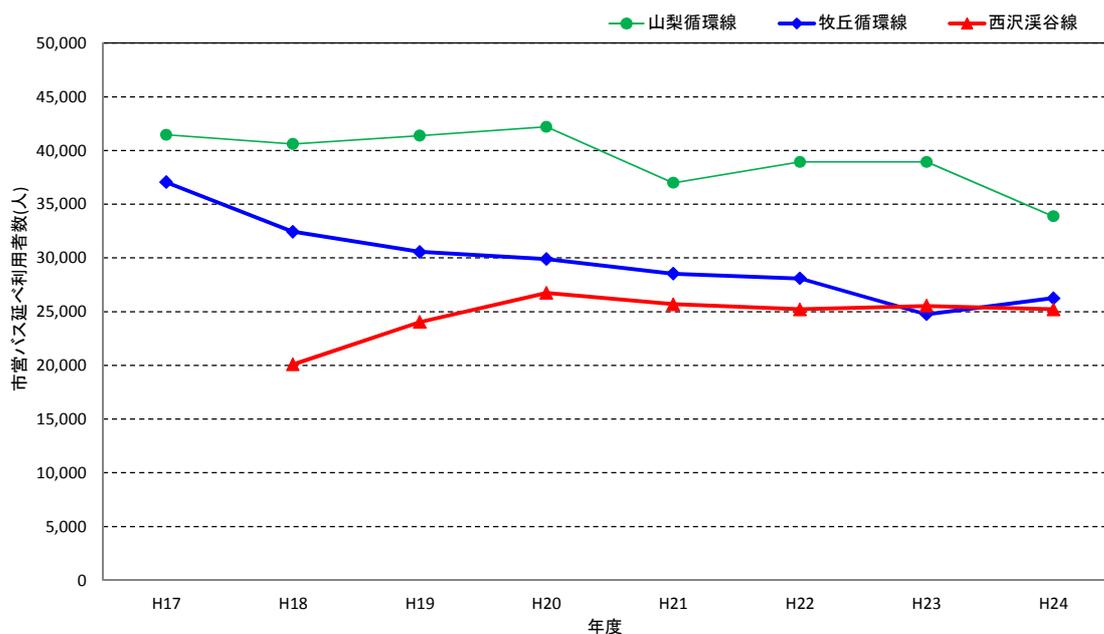
<牧丘循環線>

- ・牧丘地域内において、窪平を起点に2台のバスが循環運行し、塩山駅への接続もあります。

※ルート①：窪平方面 ⇄ 塩平方面

※ルート②：塩山駅方面 ⇄ 窪平 ⇄ 柚口方面

※ルート③：柚口方面 ⇄ 花かげの湯前方面



出典：平成25年版統計やまなし

図 2.11 市営バス延べ利用者数

2.4 土地利用等の現状

本市の土地利用は、北部の森林地帯、笛吹川右岸西部の山岳・丘陵地帯、南部の笛吹川扇状地に広がる市街地とその周辺の農地に大別されます。

近年、都市化の進行に伴う農住の混在化、農業集落地域の宅地化が進み、住環境、営農環境への影響が懸念されています。

2.4.1 土地利用現況

北部の森林地帯、笛吹川右岸西部の山岳・丘陵地帯、南部の笛吹川扇状地に広がる市街地とその周辺の農地に大別され、森林が市の面積の8割以上を占めています。

土地利用別には、宅地が2.5%、そのうち約75%が山梨地域に位置し、農地は7.5%、約82%を占める山林のほとんどは牧丘地域と三富地域に位置しています。

また、山梨地域の農地は、市全体の7割を占めています。

2.4.2 土地利用規制

都市計画法に基づき都市計画区域と用途地域（334.5ha）が指定されています。都市計画区域内において用途地域が指定されていない地域については、建物の大きさに関する規制のみが定められています。

その他、農振法に基づく農業振興地域と農用地区域、森林法に基づく地域森林計画対象民有林、保安林などが指定されています。

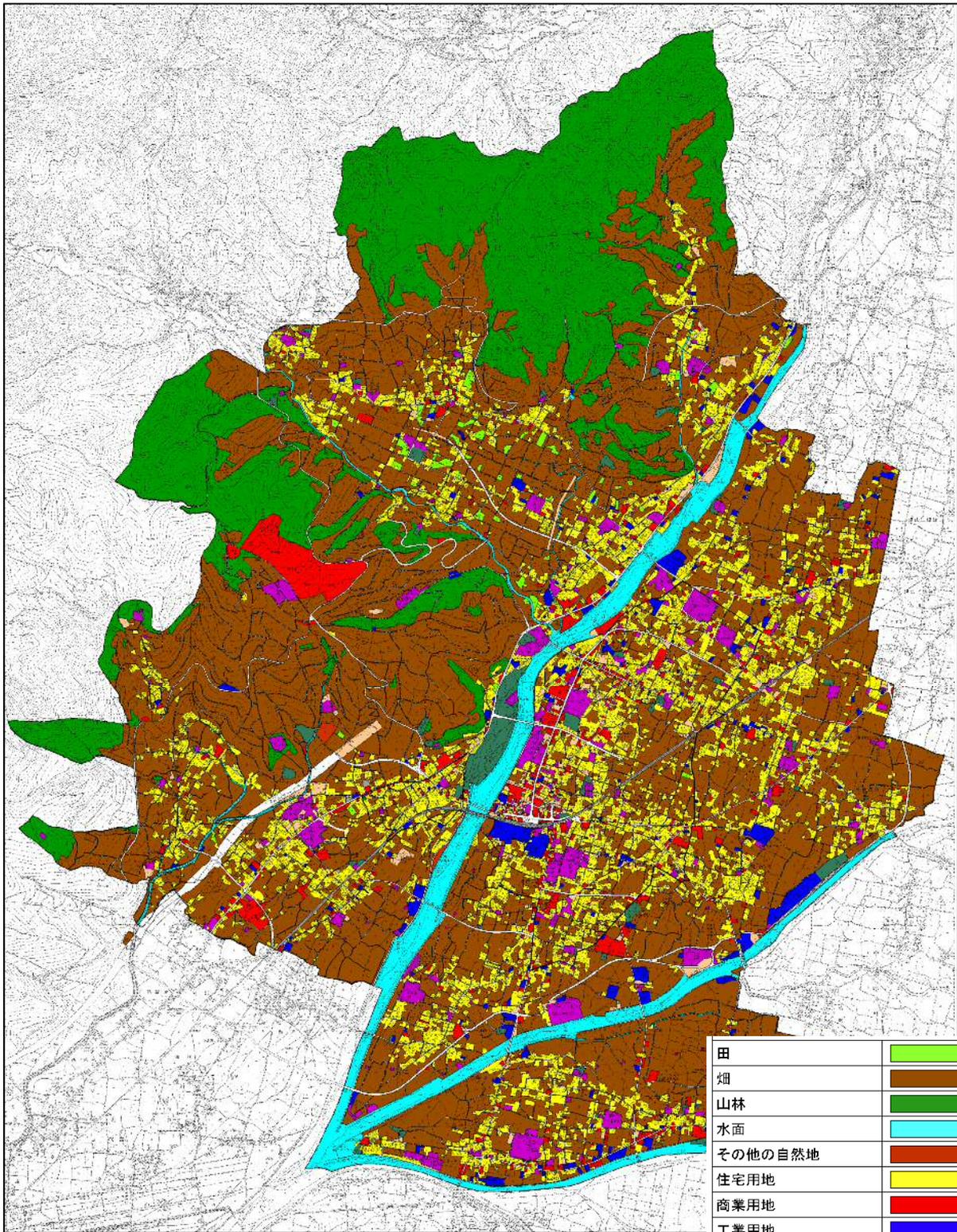


図 2.12 土地利用の状況（都市計画区域）

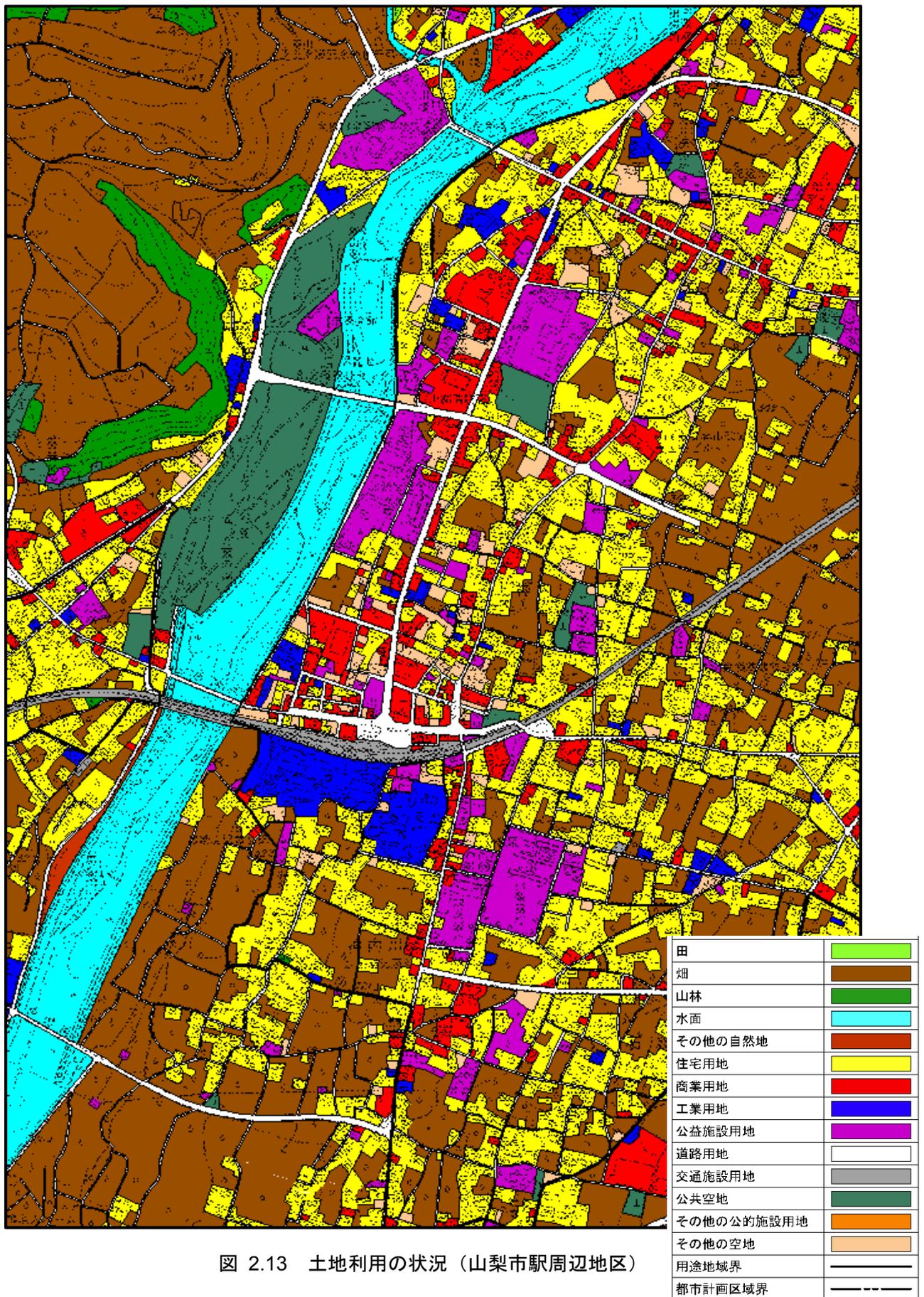


図 2.13 土地利用の状況（山梨市駅周辺地区）

2.5 主要施設等の分布状況（山梨市駅周辺地区）

本市では、市役所等主要な公共施設や文教施設、病院、商業施設等は、山梨市駅周辺半径約1km圏内に集積しており、コンパクトシティ化が進んでいます。

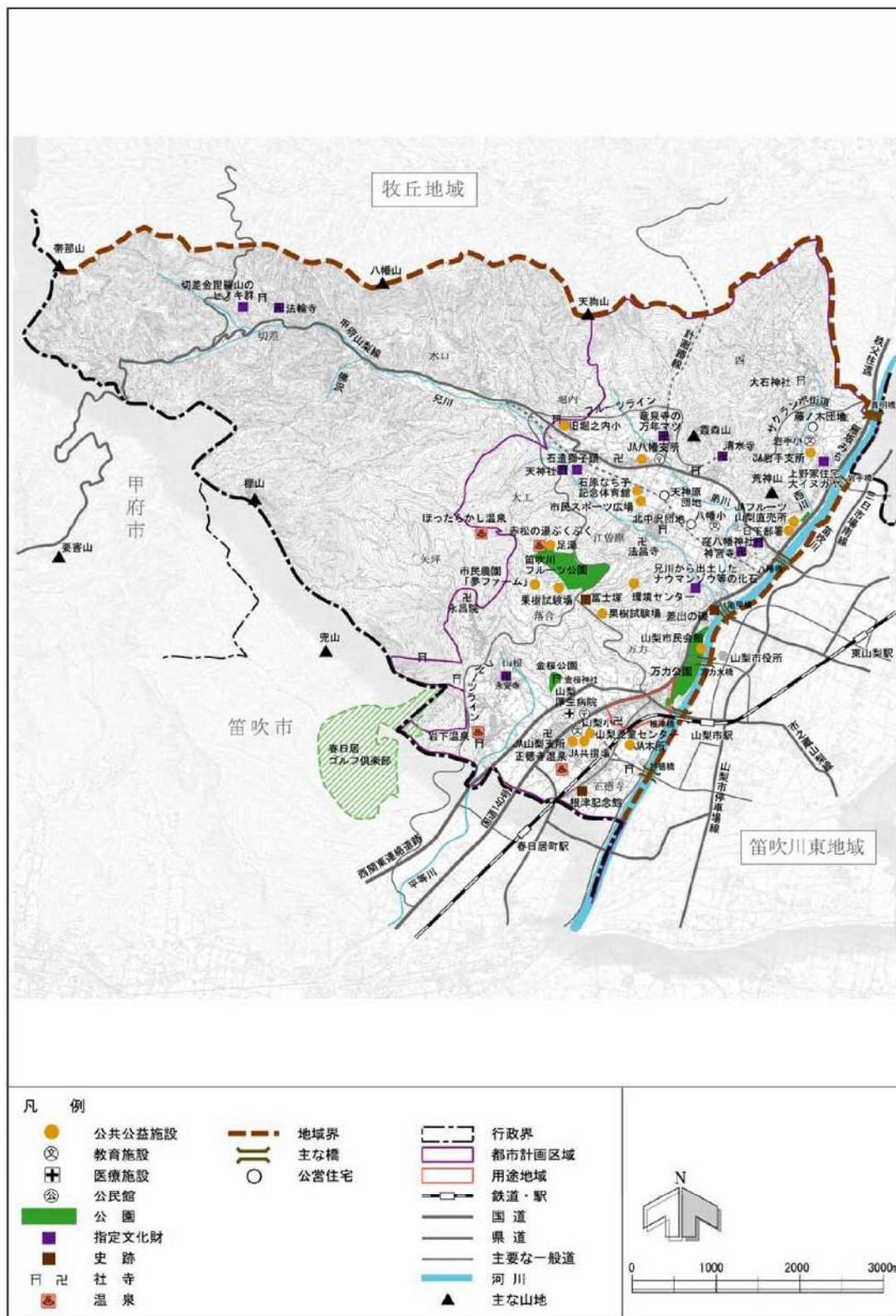


図 2.14 主要施設の分布状況（笛吹川西地域）

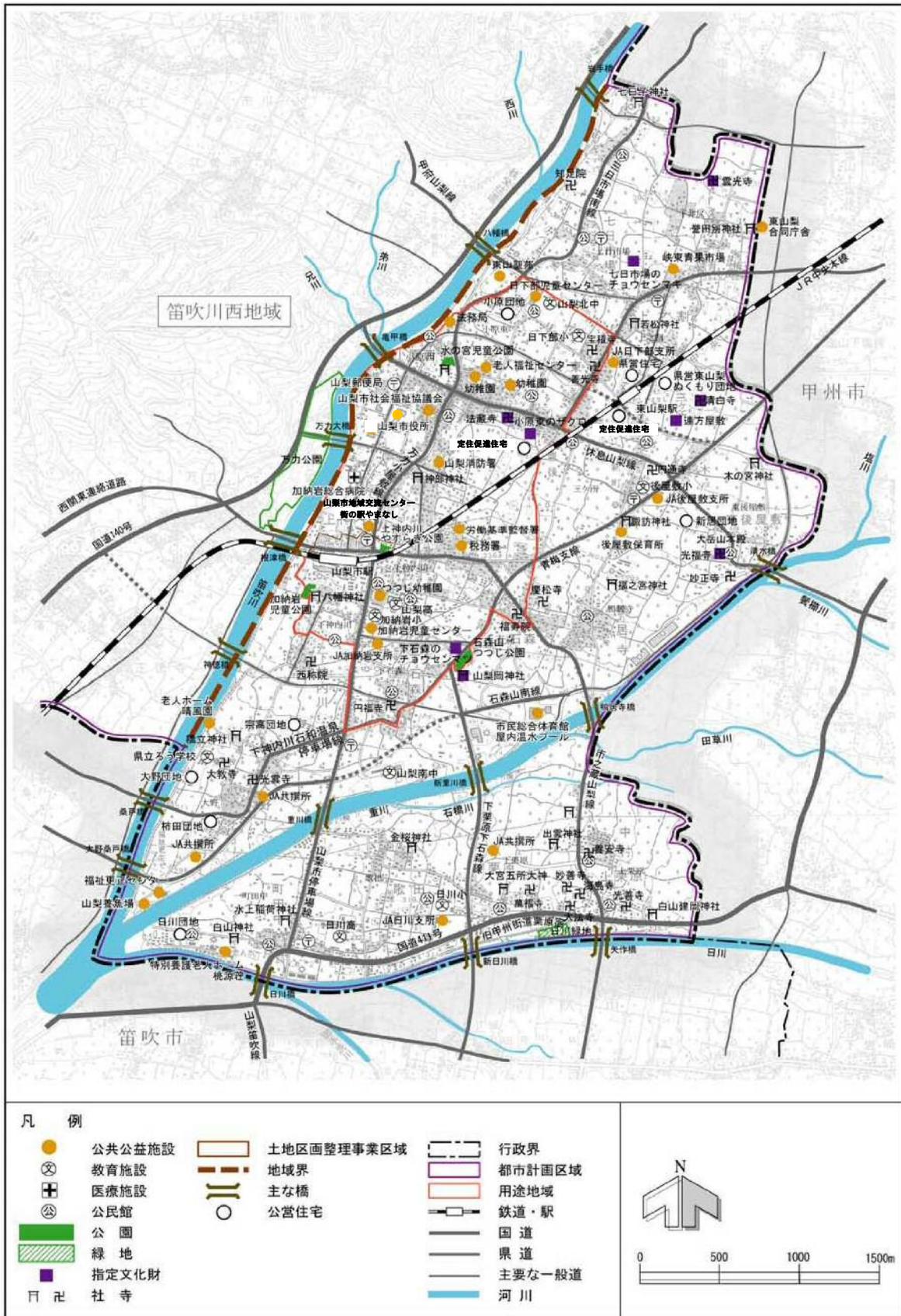


図 2.15 主要施設の分布状況（笛吹川東地域）

2.6 上位計画

バリアフリー基本構想を策定するにあたり、整合を図る必要のある本市の上位計画について整理しました。

表 2.2 山梨市総合計画

| 山梨市総合計画（平成 19 年度） | |
|-------------------|--|
| 基本理念 基本目標 | <p><まちづくりの基本理念></p> <p>① 地域特性を生かした個性と魅力あるまちづくりの推進</p> <p>② 交流と連携による一体感のあるまちづくりの推進</p> <p>③ 市民の視点に立った協働によるまちづくりの推進</p> <p><まちづくりの基本方針></p> <p>基本方針①：自然とともに暮らす潤いのまちづくり</p> <p>基本方針②：ぬくもりある健康と福祉のまちづくり</p> <p>基本方針③：人々が集う活力に満ちたにぎわいのまちづくり</p> <p>基本方針④：豊かな心や個性を育む教育と文化のまちづくり</p> <p>基本方針⑤：都市基盤の整った快適で安全なまちづくり</p> |
| バリアフリー 関連内容 | <p><基本方針②：ぬくもりある健康と福祉のまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会、民生委員・児童委員、企業、NPO、ボランティアなど、多様な主体との連携により、地域全体で支え合う仕組みづくりを進めます。 ・思いやりの心を育む教育環境の充実に努めます。 ・ユニバーサルデザインの考え方に立ち、高齢者や子ども、障害者など、だれもが使いやすい公共交通・施設の整備を図ります。 <p><基本方針⑤：都市基盤の整った快適で安全なまちづくり></p> <p>◆道路・交通体系の整備・充実</p> <p>①幹線道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者や障害者などに配慮したユニバーサルデザインに基づく、使いやすい道路整備に努めます。 <p>②公共交通機関の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道交通の玄関口となる山梨市駅前広場の適切な管理、運営を行うとともに、山梨市駅のバリアフリー化、南口の設置などについて検討します。 <p>◆快適な住環境の整備・充実</p> <p>①住みやすい住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政におけるユニバーサルデザインの考え方を明確にし、統一的な考え方の中で施策の展開を行います。 ・公共施設、道路などのバリアフリー化、公共交通の整備、改善を進め、障害者、高齢者にとっても使いやすいまちづくりに努めます。 |

表 2.3 山梨市都市計画マスタープラン

| 山梨市都市計画マスタープラン（平成 19 年度） | |
|--------------------------|---|
| 基本理念 基本目標 | <p><都市・里の将来像></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の誰もが「このまちに住んでよかった」といえる、そんな愛着と誇り、夢のもてる都市・里づくりをめざします。 <p><都市・里づくりの目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然と共生するまち」 ・「活気あるまち」 ・「暮らしやすいまち」 ・「文化の香り高いまち」 |
| バリアフリー 関連内容 | <p><人にやさしい福祉のまちづくり方針></p> <p>◆基本方針：「高齢者や障害者など、みんなが安心して暮らせる人にやさしいまちづくりを進めます。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本格的な高齢化社会を迎え、本市では、「高齢者・障害者など、すべての人が一緒に暮らす社会こそが、ノーマルな社会」というノーマライゼーションの理念に基づき、物理的にも精神的にも日常生活での様々なバリア（障壁）が取り除かれ、誰もが安心して暮らしていける人にやさしい福祉のまちづくりを進めます。 <p>◆3つの方針</p> <ol style="list-style-type: none"> ①多くの市民が利用する公共施設等のバリアフリー化を進めます。 ②福祉施策と連携した人にやさしい環境づくりを進めます。 ③協働による福祉のまちづくりを進めます。 |

表 2.4 山梨市高齢者いきいきプラン

| 山梨市高齢者いきいき安心プラン（山梨市高齢者福祉計画、第 5 期介護保険事業計画） （平成 24 年度） | |
|---|--|
| 基本理念 基本目標 | <p><基本理念></p> <p>「いきいきと仲間とともに担う 支えあいと安心のまちづくり」</p> <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住みなれたまちで健康に暮らし続ける ・安心して介護保険・福祉サービスを利用する ・地域の中で元気に活躍する ・誰にでもやさしい安全なまちづくり |
| バリアフリー 関連内容 | <p><誰にでもやさしい安全なまちづくり></p> <p>◆誰にでもやさしいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や道路のバリアフリーの推進 ・移動面におけるバリアフリー化の推進 ・高齢者の視点に立ったまちづくりの推進 |

表 2.5 山梨市地域福祉計画

| 山梨市地域福祉計画（平成 22 年度） | |
|---------------------|--|
| 基本理念 基本目標 | <p><基本理念> 「ふれあいを大切に ともに生き、ともに支える、 やさしいまち 山梨市」</p> <p><基本目標> ①みんなで支えあうまちづくり ②活動の輪を広げるまちづくり ③安心して暮らすことができるまちづくり</p> |
| バリアフリー 関連内容 | <p><③安心して暮らすことができるまちづくり></p> <p>◆バリアフリーのまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい居住空間の整備 ・心のバリアフリーの実現 ・公共施設、交通機関等のバリアフリー化の推進 ・情報バリアフリーの推進 |

表 2.6 山梨市障害者福祉計画

| 山梨市障害者福祉計画（平成 19 年度） | |
|----------------------|--|
| 基本理念 基本目標 | <p><基本理念> 「人権を尊重し自立と参加を支えあう福祉のまちづくり」</p> |
| バリアフリー 関連内容 | <p><障害者基本計画></p> <p>◆生活環境の整備充実</p> <p>①障害のある人にやさしい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が安全かつ快適に地域社会において活動できるように、障害のある人にやさしいまちづくりに努めます。 |